

Ⅱ. アメリカ合衆国史単元「冷戦の開始」(授業者: Ms. Haile McGetrick)

アメリカ合衆国史単元「冷戦の起源」の、実施教科、授業者、実施日時、実施学校、実施学年、授業記録者は以下の通りである。

○教科名: アメリカ合衆国史(The United States History)

○単元名: 冷戦の起源(The Origin of the Cold War)

○授業者(教師)名: ヘアリ・マクゲトリック先生(Ms. Haile McGetrick)

○授業実施日時: 2015年3月13日第5校時(13時03分~14時01分)

○実施学校名: メイフェア中学・高等学校(Mayfair Middle/High School)

カリフォルニア州ロサンゼルス郡レイクウッド市

○実施学年(受講生徒数): 第11学年(25名)

○授業記録者: 田尻信壹

1. メイフェア中学・高等学校の概要



写真1 メイフェア中学・高等学校(2015年3月13日撮影)

メイフェア中学・高等学校はカリフォルニア州ロサンゼルス郡レイクウッド市に所在する公立学校である(6000 N. Woodruff Ave. Lakewood, CA 90713)。レイクウッド市はロサ

ンゼルス市の南東部に位置する郊外都市で、人口は80,048人（2010年国勢調査）である。

同校のホームページ情報（<http://www.busd.k12.ca.us/mayfair-high.html>、2015年8月2日確認）によれば、同校の生徒数は3,446名で、第7学年から第12学年までの6学年が在籍する。人種構成はヒスパニック系50%、白人系17%、黒人系16%、アジア系5%、複数人種の混血4%、太平洋島嶼系1%、ネイティブアメリカン系0%からなる。メイフェア中学・高等学校の大学進学率（Graduation Rate）は96.9%で、同校が属するベルフラワー統一学校区（Bellflower Unified School District）の85.5%、カリフォルニア州全体の78.6%よりも高く、州内では優良校として評価されている。

2. 授業の特徴と意義

アメリカ合衆国史単元「冷戦の起源」は、ワインバーグ（S.Wineburg）を中心とした、米国のスタンフォード大学歴史教育グループ（Stanford History Education Group。以下、SHEGと略記する。）が2002年以降開発した中等教育段階の歴史カリキュラムである。この歴史カリキュラムは、“Reading Like a Historian（歴史家のように読む。RLHと略記する。）”と呼ばれている。そして、ここでは、主たる教材として史料を用い、学習者が史料を歴史家のように読む中で歴史家の専門的スキルを体験、習得させる点を特徴とする。

SHEGのWEBサイトには、“RLH”の単元として「歴史的思考」5単元、「米国史」73単元、「世界史」37単元の、115単元が掲載されている。これらは、学習者が歴史家の史料解釈のスキルを体験、習得することを目的にしている。グローバル化の影響で様々な情報が氾濫する現代においては、情報にアクセスしそこから情報の真偽や有用性を取捨選択し自己の意思決定に生かしていく能力が求められる。そのためには、「歴史家のように読む」ことは、現代人に求められる市民的資質として重要であろう。

3. 授業の記録

【授業開始】

（マクゲトリック先生 01）ハンドアウト「①ガイディングクエスチョン／誘導的問い」
に書き込んでください。このことについて、何か質問はありませんか。

生徒は指示された活動を開始する



写真2 マクゲトリック先生

[05分経過／58分]

(マクゲトリック先生 02) はい、授業を始めます。すぐに活動を終わらせて下さい。

*** 生徒たちは活動を続けている***

(マクゲトリック先生 03) 活動を終わらせて下さい。では、皆さんの答えを聞くことにしましょう。誰か答えてくれる人はいますか。皆さんは、冷戦についてどんなことを覚えていますか。誰か発表して授業の口火を切ってくれませんか。答えてくれる人はいませんか。

*** 女子生徒が挙手する***



写真3 ハンドアウトの課題を行う生徒

(マクゲトリック先生 04)

モリナ、ありがとう。では、あなたの意見をお願いします。

(モリナ 01) 冷戦はキューバにおける核兵器の問題に関係しており、米国は共産主義を恐れていたため、キューバに核兵器が持ち込まれることを望んでいませんでした。米国はソ連が行なおうとしたキ



写真4 ハンドアウトを使って授業を進める

キューバへの核兵器持ち込みを警告しました。このことがきっかけで、冷戦が始まったと思います。

(マクゲトリック先生 05) そうですね。あなたはキューバ・ミサイル危機について、本当にたくさんを知っていますね。

(モリナ 02) はい。

(マクゲトリック先生 06) これで冷戦の一面については明らかにできました。では、ほかに誰かいませんか。

*** 男子生徒が挙手する ***

(マクゲトリック先生 07) マット、意見を述べて下さい。

(マット 01) 冷戦というのは・・・米国とソ連との間の武力衝突のない戦争のことです。実際のところ、冷戦のもとでは、戦闘がありませんでした。それから、誰に尋ねても同じ答えが返って来ますが、冷戦を始めたのはソ連の側でした。

(マクゲトリック先生 08) はい、ありがとう。それでは、ドレイク。君はハンドアウトにどんなことを書き込みましたか。

(ドレイク 01) 僕はモリナが言ったこととほぼ同じことを書きました。つまり、冷戦はキューバのミサイル危機のことを言っています。

(マクゲトリック先生 09) はい、ありがとう。では、キューバ・ミサイル危機のことを書いた人は、手を上げて見てください。

*** クラスの半数ほどの生徒が挙手する ***

(マクゲトリック先生 10) 昨年の授業（第 10 学年の世界史で冷戦については既習している。～筆者挿入～）が皆さんの冷戦イメージに大きな影響を与えることになったに違いありませんね。キューバ・ミサイル危機は、実際のところ、冷戦の一部であって全てではありません。よろしいですか。では、アビー、君はどんなことを書きましたか。

(アビー 01) 僕は冷戦について何も覚えていません。

(マクゲトリック先生 11) では、君の周囲の人たちと相談したことや、君が史料の中で発見したことについてはどうでしたか。

(アビー 02) ソ連は自分たちとは異なった政治的経済的制度を理由にして冷戦を開始したと、ハンドアウトに書き込みました。

(マクゲトリック先生 12) ソ連の異なった政治的経済的制度が冷戦開始の理由ということですね。はい、ありがとうございます。では、先ほどのハンドアウトを机の上に出してください。

*** 生徒たちがハンドアウトを机の上に出す ***

[10分経過／58分]

(マクゲトリック先生 13) はい、ありがとうございます。ハンドアウトを出しましたね。では、皆さん。新しい問題に取り組みましょう。では、文書史料（文書史料A・B）を出してください。まず、授業の前半は講義をしますので、ノートをとりましょう。次に、授業の後半では、文書史料の分析を行いましょう。文書史料の分析に入る前に、皆さんが昨年学習したことを復習してみましょう。よろしいですか。皆さん、用意ができましたか。では、始めます。

4つのことを復習しておく必要があります。まず最初に、共産主義と資本主義の対立についてです。共産主義とはどんな思想ですか。もし皆さんが共産主義と資本主義という2つのイデオロギーを説明しなければならないならば、皆さんはどのように説明しますか。

では、文書資料の分析に入る前に、皆さんが昨年学習したことを復習してみましょう。よろしいですか。皆さん、用意ができましたか。では、始めます。誰か答えてくれませんか。ニック、どうですか。

(ニック 01) 共産主義はすべての人が平等です。そして、資本主義は、自分自身の仕事に対する貢献に応じて収入を得るので、すべての人は平等ではありません。

(マクゲトリック先生 14) そうですね。素晴らしい答えです。マット、ほかに何か付け足すことはありますか。

(マット 02) そうですね。同じです。

(マクゲトリック先生 15) 同じとは、どう言うことですか。

(マット 03) 共産主義は集団主義的です。資本主義は単独でばらばらに存在しています。

(マクゲトリック先生 16) そうですね。集団主義対個人主義と言うことですね。ハイド、

君はほかに何か付け加えることができますか。

(ハイド 01) 共産主義は政府がすべての経済活動を管理している社会ですし、資本主義は私有財産制、すなわちすべての人が自分の財産を管理している社会であると聞いています。

(マクゲトリック先生 17) そうですね。資本主義は自由企業体制です。

(ハイド 02) はい、そうです。

(マクゲトリック先生 18) 皆さんは、これらの2つの概念を正しく記憶していましたね。では、2点目として、第二次世界大戦中にソ連と米国は連合国の一員でしたか。このことは正しいですか。また、冷戦期には両国は同盟関係にありましたか。

(生徒A 01～名前は不明) 第二次世界大戦中には、両国は同盟関係にありましたが、冷戦期は違います。

(マクゲトリック先生 19) その通りです。冷戦期には、米ソ両国は相互に敵対する主要なプレイヤーでしたね。この事態はどのように起きましたか。以前に同盟関係にあった国同士がどのようにして敵対することになったのですか。

(マクゲトリック先生 20) ハキーム、君はどう考えますか。

(ハキーム 01) そうですね。米ソ両国は異なった意見、おそらく、異なった政府の形態を持っていたことが理由だと思います。

(マクゲトリック先生 21) 共産主義と資本主義という異なった体制の政府同士が隣り合っていると、平和的に共存することができますか。

(複数の生徒たち～名前は不明) 不可能です。

(マクゲトリック先生 22) 衝突が起こります。では、両国はどのようにして第二次世界大戦期には同盟関係を維持することできたのですか。両国の同盟はどのように結ばれたのですか。

(マット 03) 両国に共通の敵が存在したからですか。

(マクゲトリック先生 23) 米ソ両国に共通の敵が存在したというのは正しいです。次の学習を行う前に、さらに2つのことを復習しておきましょう。第二次世界大戦後のヨーロッパの状況です。マット、どのような状況でしたか。

(マット 04) 多分、とても悪い状況でした。

(マクゲトリック先生 24) はい、悪い状況でしたね。それでは、ジョー。ヨーロッパの悪い状況について、もっと詳しく説明してください。

(ジョー 01) 全くひどかったです。

(マクゲトリック先生 25) はい、荒廃的な状態でした。それまであった大国が崩壊しました。そして、このことは2つの超大国の間に競争激化という状況を準備するものでした。そして、現実には2つの超大国の競争が激化することになりました。

(生徒B 01～名前は不明) それは米国とソ連のことですか。

(マクゲトリック先生 26) その通りです。米国とソ連は自分たちの影響を広めることを望んでいました。そして、第二次世界大戦後の深刻な状況のもとで、戦争で傷ついた人々の支持を獲得することになりました。それで、米国とソ連の競争が始まりました。両国はそれぞれの脆弱な場所に進出して、そして自国の影響を広めることを望みました。以上のことが皆さんが昨年の授業の復習から導き出された概念です。

では最後に、4点目として、ソ連陣営についてです。第二次世界大戦後にソ連の赤軍は東ヨーロッパに駐留して、この地域の国々を支配しました。そのことは東欧諸国がソ連陣営として知られるようになりました。では、米国はヨーロッパの他の諸国がソ連陣営に参加しないように、どんな政策によって援助しましたか。トルーマンドクトリンとマーシャルプランについて、何か思い出すことはありますか。マット、どうですか。

(マット 05) マーシャルプランはヨーロッパの復興を目的に米国が財政援助する計画です。

(マクゲトリック先生 27) その通りです。米国はヨーロッパを再建することを望んでいます。なぜですか。また、なぜヨーロッパに財政援助することを望んでいるのですか。

(マット 06) ヨーロッパ諸国も資本主義に基づく復興の道を望んでいたからです。そうではありませんか。

(マクゲトリック先生 28) もし経済が本当にうまくいっていて、そして彼らが強ければ、共産主義の影響を受けたでしょうか。

(複数の学生たち) 共産主義の影響を受けることはありません。

(マクゲトリック先生 29) その通りです。では、先に進みます。オリヴィア、教室の電燈を消してくれませんか。

*** オリヴィア、教室の電燈を消す***

[15分経過／58分]

(マクゲトリック先生 30) ありがとう。冷戦期の年表を印刷したプリント（冷戦初期の年表）があります。これを配ります。この年表は皆さんが保管しておいてください。皆さん

んは年表にいろいろなことを書き込んでもよいです。それでは、まず初めに冷戦初期の鍵となる2、3の事件を再吟味してみましょう。次に、文書史料（文書史料A・Bを参照）を見てみましょう。誰が冷戦を始めたのか、自分で決めてみましょう。そして、皆さんの意見が授業冒頭で書いた答えと同じままでしたか、あるいは変わりましたか。そのことを確認してみましょう。では、年表を回してください。私は、今、追加した資料から、冷戦について考えます。過去数十年間に渡って、歴史家の間では、誰が冷戦を始めたかという問題についての意見が異なっていました。今日、私たちは冷戦に関するいくつかの文書史料を丹念に見ていきましょう。そして次に、誰が冷戦を始めたかのかを決めましょう。これらの文書史料を見る前に、もう少し復習しておくことにします。鉄のカーテン演説についてです。昨年の授業でこのことを学びましたが、皆さんは覚えていますか。

（複数の生徒たち） はい、覚えています。

（マクゲトリック先生 31） ミケーラ、あなたはどんなことを覚えていますか。

ミケーラの返答がない

（マクゲトリック先生 32） では、マット。君はどうですか。

（マット 07） それは、チャーチルが行なった演説です。

（マクゲトリック先生 33） そうですね。ほかに何かありますか。

（マット 08） 多分、そこでは世界の国家を共産主義と非共産主義に分ける方法について語っていたのではなかったですか。

（マクゲトリック先生 34） いいえ、そうではありませんね。彼の演説はヨーロッパ大陸に限られた話でした。

（マット 09） はい、そうです。ヨーロッパ大陸の国家についてのことです。

（マクゲトリック先生 35） 鉄のカーテン演説のことが分かりましたか。

教師がパワーポイントのスライド2（The Iron Curtain）を映す

（マクゲトリック先生 36） 地図上に赤いラインが引彼てあります。見てください。そして、地図には着色された部分があります。なぜ赤いラインを鉄のカーテンと呼んだのですか。なぜ、鉄という言葉を選択しているのですか。

（生徒C 01～名前は不明） それは強さをイメージするからです。

(マクゲトリック先生37) 強さです。鉄のカーテンはたやすく前後に引けますか。

(複数の生徒たち～名前は不明) いいえ、できません。

(マクゲトリック先生 38) 皆さんは鉄のカーテンを簡単にヒューッと引き戻すことができますか。

(複数の生徒たち) いいえ、できません。

(マクゲトリック先生 39) その通りですね。チャーチルはこの演説で、堅固な鉄のカーテンがヨーロッパ大陸に存在し、ソ連陣営は鉄のカーテンを西ヨーロッパまで拡大することを望み、米国はそうなることを望んでいないと言っています。この演説の内容について、文書史料A(「鉄のカーテン演説」抜粋)から簡潔に読み取りましょう。トルーマンドクトリンの抜粋(文書資料Bを参照)も読みましょう。これらの文書史料を読む時には、私たちはコンテキスト(文脈)、すなわち正しいコンテキスト(文脈)で読むということを行います。では、まず、戦後初期の米国とヨーロッパとの関係を確認しておきましょう。

教師がパワーポイントのスライド3(The Truman Doctrine, 1947)を映す

(マクゲトリック先生 40) トルーマンドクトリンは、ギリシアとトルコがソ連の影響下に落ちないように米国が両国を援助することを提案するものです。

[30秒間の沈黙]

(マクゲトリック先生 41) 先に進みます。マーシャルプランも重要な考えです。この言葉は皆さんが知っている用語です。昨年の授業でこの言葉を勉強しましたね。

教師がパワーポイントのスライド4(The Marshall Plan, 1947)をスクリーンに映す



写真5 PPTを用いて「冷戦の起源」説明する

(マクゲトリック先生 42) 皆さんは、なぜ米国がこれほどたくさんの資金を使うことを選択したと思いますか。マーシャルプランは、西ヨーロッパ諸国の経済を強固に、そして健全にするために、米国が資金を西ヨーロッパに投入することによって、ソ連の影響力を窮地に追い込むことを企図するもので

す。もし経済が強固で健全であるならば、西ヨーロッパ諸国は、それほどには、多分全くといってよいほど共産主義の影響を、すなわちソ連の影響を受けることはなかったです。

このことについて質問ないしは意見はありますか。

アイリスが挙手する

(アイリス 01) 米国がマーシャルプランでたくさんの資金を用いたのは、共産主義が西ヨーロッパに及ばないようにするためですか。

(マクゲトリック先生 43) その通りです。では、なぜ米国はそうしたのですか。米国はそれほどまでに西ヨーロッパに関心を払ったのはなぜですか。

[20分経過／58分]

(アイリス 02) 米国がソ連に負けることを望まなかったからです。

(マクゲトリック先生 44) そうですね。このことをよく覚えておきましょう。この単元を終えても、このことは覚えておいてください。NATO（北大西洋条約機構）条約とワルシャワ条約の二大条約は、基本的には同盟です。では、これらの同盟は歴史的には、どんな目的で結ばれるのですか。

(生徒D 01～生徒名は不明) 戦争に備えてです。

(マクゲトリック先生 45) 戦争、正しいです。パワーポイントのスライド5（NATO Treaty, 1949. Warsaw Pact, 1955）を見てください。

教師がパワーポイントのスライド5（NATO Treaty, 1949. Warsaw Pact, 1955）をスクリーンに映す

(マクゲトリック先生 46) 私たちは、NATO条約とワルシャワ条約にそれぞれ加盟した多くの同盟諸国を確認することができます。皆さんが知っているように、東ヨーロッパはワルシャワ条約機構に属しており、ソ連側です。西ヨーロッパは西側で、米国側です。よいですね。それでは、皆さんはNATOとワルシャワ条約機構のことを理解しましたね。そして、もし君たちがこのPPTスライドのことで質問があるならば、手を上げてください。

[10秒間ほどの沈黙]

(マクゲトリック先生 47) よいですね。それでは、誰が冷戦を開始しましたか。その仮説について考えてみましょう。ここで、これから読もうとする4つの文書史料(文書史料A~D)があります。これらの文書史料は原文を変更、要約、省略したものです。ここには、誰が冷戦を開始したかという問いの答えが隠されています。それでは、文書史料Aは「鉄のカーテン演説」の抜粋です。では、ダリル、大きな声で読んでください。皆さん、ダリルの後について読みましょう。

ダリルが文書史料Aの朗読を始める

(ダリル 01) しかしながら、ヨーロッパの現状についての確かな事実を皆さんにお伝えすることは私の義務です(斜体字は朗読箇所を示す。以下、同じ)。

(マクゲトリック先生 48) ちょっと待って。ヘレン、彼の声が聞こえますか。

(ヘレン 01) ほんの少しです。

(マクゲトリック先生 49) わかりました。もう少し大きな声で読んでください。

(ダリル 02) わかりました。

(マクゲトリック先生 50) ありがとうございます。では、続けてください。

(ダリル 03) バルト海のステッティンからアドリア海のトリエステまでヨーロッパ大陸を横断する鉄のカーテンが降ろされました。カーテンの裏側には、中欧・東欧の古くからの国々の首都があります。ワルシャワ、ベルリン、プラハ、ウィーン、ブダペスト、ベルグラード、ソフィア、これらの有名なすべての都市とその周辺の住民は、ソビエト圏内



にあり、何らかの形で、ソビエトの影響下にあるばかりか、ますます強化されつつあるモスクワからの厳しい統制を受けています。ロシアの国境から遠く離れた、そして世界中の無数の国々において、共産党の第五列部隊が設立され、完全な統合と共産党の中央から

写真6 PPTのスライドで米ソ両陣営の参加国を確認する

受け取った命令への絶対的服従のもとで活動しています。ソヴィエト・ロシアが戦争を欲しているとは思いません。彼らの求めているのは戦争の報酬であり、彼らの権力と主義の限りなき拡張であります。しかいながら、私たちは、残されている時間のうちに、今日ここで、考えなければならないことは、戦争の恒久的な防止であり、すべての国にできるだけ早く自由と民主主義を確立することにあります。

(マクゲトリック先生 51) ここまででよいです。では、このハンドアウト (②ガイディングクエスチョン/誘導的問い) を自分の前後の人たちに渡してください。

教師がハンドアウト (②ガイディングクエスチョン/誘導的問い) を生徒に渡す

[25分経過/58分]

(マクゲトリック先生 52) 全員に、文書史料[文書史料C・D]と2枚目のハンドアウト (②ガイディングクエスチョン/誘導的問い) を配ります。文書史料はクラスセット用ですので、そこには何も書き込まないでください。ハンドアウトに書き込んでください。これらは後で回収します。オリヴィア、照明をつけてくれませんか。

*** オリヴィア、教室の電燈をつける***

(マクゲトリック先生 53) オリヴィア、ありがとう。

では、最初に文書史料Aの出所を明らかにしよう (sourcing) と思います。ウィンストン・チャーチルはどんな人物でしたか。また、なぜアメリカの人たちはチャーチルがソ連について言ったことを信じたのですか。

文書史料Aは鉄のカーテン演説と呼ばれています。では、この史料を丁寧に読むこと (Close reading) に挑戦します。皆さんにこの文書史料から読み取ってほしいことは、チャーチルはソ連が欲しているものは何だと言っているかということです。隣りの人と相談して答えてください。2分で答えを考えてください。きちんとまとめなくてもよいです。皆さんの考えを具体的に示してください。

*** 生徒たちは活動を開始する***

(マクゲトリック先生 54) 難しいようだったら、隣りに助けを求めてください。

*** 生徒たちは活動を続けている***

(マクゲトリック先生 55) もう良いですね。皆さん。文書史料Aの出所を明らかにしてみましよう (sourcing) ウィンストン・チャーチルはどんな人物でしたか、そしてアメリカの人々は、なぜ彼がソ連について語ったことを信じたのでしょうか。アイリス、教えてください。

(アイリス 03) 彼はイギリスの指導者でした。そしてイギリスは米国の信頼できる同盟国です。

(マクゲトリック先生 56) 他の人たちはどうですか。

(生徒E 01～名前は不明) 多分、彼は米国と共通の敵を持っていました。そして、彼は今やソ連に敵対しようとしています。このことが、彼が米国から信頼された理由だと思います。

(マクゲトリック先生 57) ソ連が米英共通の敵であり、共通の目標だったということですか。

(生徒E 02) その通りです。

(マクゲトリック先生 58) ほかに何かありますか。ブライアンはどうですか。

(ブライアン 01) 何ともありません。

(マクゲトリック先生 59) 次に、丁寧に読む (Close reading) ための問いです。チャーチルはソ連が何を要求したと言っていますか。マット、どうですか。

(マット 10) ソ連は、力をつけてできる限り自分たちの国を拡張することを望みました。

(マクゲトリック先生 60) そうですね。ソ連は国を拡張することを望んでいましたね。他に何か質問がありますか。

(生徒F 01～名前は不明) ソ連は戦争の報酬を欲していましたか。

(マクゲトリック先生 61) そうです。彼らは戦争の報酬を欲しましたね。

[30分経過／58分]

(マクゲトリック先生 62) その通りです。文書史料Bを見てください。トルーマンドクトリンの抜粋です。皆さんは自分でこの文章を読みましよう。次に、皆さんはトルーマンドクトリンについての3つの問い (第1回目配布の「ガイディングクエスチョン/誘導的問い」を参照) に答えましよう。よろしいですか。およそ10分で答えて下さい。

*** 生徒たちは活動を開始する***

(マクゲトリック先生 63) 皆さんは周りの人達と静かに考えてもよいです。お互いに助け合ってください。わからない人に手を貸すようにしてください。

*** 生徒たちは活動を続けている***

(マクゲトリック先生 64) 生徒の皆さん。ちょっと、聞いてください。男子諸君、女子の皆さん。もし未だ終えていないならば、最後までやり遂げてください。

(生徒F 02) 自分たちの政治組織を拡大することですか。

[40分経過／58分]

(マクゲトリック先生 65) 最後まで終わりましたか。それでは、トルーマンドクトリンに関する1番目の問いです。これは、精読するための問いです。トルーマンは、なぜギリシアが1947年にアメリカの支援物資を必要とすることになったと思ったのですか。ダイアナ、私はまだあなたを指名していませんね。あなたはトルーマンドクトリンに関する問いにどんなことを記入しましたか。

(ダイアナ 01) 「ギリシアがソ連に脅かされていたから」と書きました。

(マクゲトリック先生 66) そうですね。ソ連によって脅やかされていましたね。ナサーニア、1番目の問いについて他に何かありませんか。

(ナサーニア 01) 多分、彼らは食糧とかと衣類とかを必要としていました。

(マクゲトリック先生 67) そうです。彼らは食糧と衣類を必要としていましたね。他に何かありませんか。ブライアンはどうですか。

(ブライアン 02) 米国以外の他のどこの国もギリシアに援助しようとはしませんでした。

(マクゲトリック先生 68) そうですね。米国以外にはいませんでしたね。2番目の問いです。これは、史料の文脈を明らかにするための問いです。トルーマンが「もし私たちがこの運命的な時期にギリシアとトルコを援助することに失敗するならば、その影響は西洋に対しても東洋に対しても大いに及ぶでしょう」と言ったことは、どんなことを意味していましたか。マット、君はどう思いますか。

(マット 11) トルーマンは、米国がここで共産主義をくい止めることができないならば、全世界が共産主義になってしまうだろうと考えていました。

(マクゲトリック先生 69) そうです。誰かマットの意見に付け加えることができますか。モリナ、どうですか。

(モリナ 03) マットと同じ考えです。

(マクゲトリック先生 70) わかりました。モリナ、どうですか。

(モリナ 04) マットと同じ考えです。

(マクゲトリック先生 71) わかりました。では、3番目の問いです。これは、精読するための問いです。トルーマンは米国の政策を攻撃的か、それとも防御的かのどちらであると言っていますか。そして、トルーマンはこのような政策を表現するために、どのような単語ないしは語句を用いていますか。ニック、あなたはどのように考えますか。

(ニック 02) トルーマンは自分の政策を防御的であると言っていました。

(マクゲトリック先生 72) ちょっと待ってください。ニックと同じように、防御的であると言った人は何人いますか。

*** ほぼ全員の生徒たちが挙手する***

(マクゲトリック先生 73) 今日は、満場一致の承認ですね。次に進みます。

(ニック 03) そして、トルーマンは、「事態の急速な進展によって大きな責任が私たちに課せられることになりました」という言い方を用いています。そして、また、彼は「もし私たちがリーダーシップを発揮することに躊躇うならば、私たちは世界の平和を危険にさらすことになるでしょう。そして、私たちはこの国民の幸福を必ずや危険にさらすことになるでしょう」と言っています。

(マクゲトリック先生 74) よろしいです。誰か、トルーマンが使った言葉で違う表現を取り上げた人はいませんか。私たちは、トルーマンの政策を見ていく上で、たくさんの違った単語を使うことができます。そうです。他に誰かわかりますか。

(マット 12) 僕はトルーマンドクトリンは攻撃的であったと思います。

(マクゲトリック先生 75) その考えを聞きましょう。

(マット 13) 僕は、彼が「テロリスト」のような言葉を使ってソ連のことを記述しているのです、攻撃的であったと思います。

(マクゲトリック先生 76) わかりました。ほかに何かありますか。

(マット 14) 今、共産主義は急速に広まっているからです。そして、米国はこの運動をくい止める必要がありましたので。

(マクゲトリック先生 77) 皆さんは共産主義の運動を攻撃的であったと考えていますか。ダイアナはどうですか。

(**ダイアナ 02**) もし彼らがテロリストであったならば、彼らの活動が米国を悩ませていたと思います。

(**マクゲトリック先生 78**) そのことが米国の対外政策を防御的なものにしましたか、それとも攻撃的なものにしましたか。トルーマンは何と言っていましたか。

(**ダイアナ 03**) トルーマンは、そのことについてははっきりと言っていませんでした。

(**マット 15**) 僕は、米国がもし何らかの行動を起こすべきであったならば、あるいはギリシアに出かけて行き援助すべきであったならば、その政策は攻撃的であったと思います。

(**マクゲトリック先生 79**) はい、ありがとう。では、米国とソ連のどちらが、冷戦に対して、主に責任を負っていましたか。これらの文書資料(文書史料A・B)を読んだ後で、米国、ソ連のどちらかに手を挙げてください。

*** ほぼ全員の生徒たちがソ連の側に挙手する***

[45分経過/58分]

(**マクゲトリック先生 80**) よろしいです。私たちの手元には、すでに読んだ2つの文書史料(文書史料A・B)のほかに、2つの文書史料(文書史料C・D)があります。速やかに文書史料C・Dを読んでください。そして、これらの文書史料は冷戦に対する異なった面を私たちの前に示してくれています。文書史料C(ソ連駐米大使、ニコライ・ノヴィコフによるソビエト指導層への電報、1946年9月)はソ連側のものであり、世界中の共産主義者との連携を訴えるものです。文書史料Dは米国の高官からのものであり、米国の対外政策を批判する文書です。これらの文書史料は前の2つとは異なった性格の文書です。それでは、これら2つの文書史料を読み、問いに答えてください。皆さんはこれらの文書史料を手短かに読み取ることができます。およそ10分ほどでよろしいですか。通読して答えてください。では、初めてください。隣の人と静かに活動することを希望するならば、そうすることを歓迎します。

*** 生徒たちは活動を開始する***

(**マクゲトリック先生 81**) 周りの人たちに尋ねたり、仲間と議論することに関しては、かまいません。

*** 生徒たちは活動している***

(マクゲトリック先生 82) 終了まであと3分ほどです。

*** 生徒たちは活動している***

(マクゲトリック先生 83) 皆さんは文書史料CとDを読み終えたならば、ハンドアウト（2回目配布の「ガイディングクエスチョン/誘導的問い」）の最後の4角の枠内に書き込みましょう。授業の最後に、いくつかの問いについて議論しましょう。もし皆さんが活動を終えているならば、皆さんが提出した最初の仮説（①ガイディングクエスチョン/誘導的問いの仮説）を修正することに挑んでください。皆さんが二回目の仮説では、なぜ米国を選びましたか、あるいは、なぜソ連を選びましたか。仮説を立てることができたということは、これらの文書史料から直接に根拠となるべきことを導き出すことができたことを意味しています。皆さんは少なくとも根拠となることを持つべきですね。それでは、もし時間の余裕があるならば、冷戦の原因がソ連であるのかそれとも米国であるのかについて、皆さんの立場を正当化するための根拠となるべきことを多く探してみてください。周りの人たちとこのことについて静かに相談することを歓迎します。

*** 生徒たちは活動している***

(マクゲトリック先生 84) 活動を終わってください。もし皆さんの隣人が課題を解くのに苦闘している様子を見たならば、そして皆さんがもう自分の課題を終えていたならば、その人に手を貸してあげてください。

生徒たちはまだ活動している

(マクゲトリック先生 85) この時点で、まだ書き終えてないならば、授業を終えることはできません。もし皆さんがプリント（2回目配布の「ガイディングクエスチョン/誘導的問い」）末の枠内に書き込んでなかったならば、今、そこに書き込んでください。これらの問いにすべての答えを書き込んでいなかったならば、今、そこに書き込んでください。では、2度目の仮説を立ててください。

*** 生徒はまだ活動している***

[55分経過／58分]

(マクゲトリック先生 86) 終了です。前に注目してください。よろしいですか、質問が
りますか。授業をまとめる必要があります。それでは、聞いてください。

冷戦の開始に対して、誰が主に責任を負っていましたか。米国ですか、それともソ連で
すか。米国であったと考えた人は手を上げてください。

*** クラスの3分の1ほどの生徒が挙手する***

(マクゲトリック先生 87) ソ連であったと考えた人は手を上げてください。

*** クラスの半数の生徒が挙手する***

(マクゲトリック先生 88) よろしいです。自分の立場を補強するために読んだ文書史
料の中から、皆さんが自説のために有効な証拠を発見したならば、手を上げてください。

*** クラスの3分の2ほどの生徒が挙手する***

(マクゲトリック先生 89) よろしいです。君たちは、これらの4つの文書史料の内、
どれを最も信頼できますか。では始めます。マット、どうですか。

(マット 16) 文書史料Dです。

(マクゲトリック先生 90) なぜですか。

(マット 17) それは当時の米国の知識人が抱いた見方だからであり、大統領の立場から
のものではありません。それに、大統領は明らかにソ連や共産主義に偏見を持っていた



写真7 「中核的な歴史的問い」を生徒に提示する

た。なぜならば、彼は、行動をおこ
す際の計画において、共産主義は悪
という1つの固定観念を持っていた
からです。そして。そのことは、本
当に賢明なこと(スマート)ではあ
りませんでした。

(マクゲトリック先生 91) なるほ
ど。

(マット 18) ウォーレスはすべて
のアメリカの国民に考えさせようと

しています。彼の決定は最良のものです。

(マクゲトリック先生 92) ありがとう。マットと同じように感じた人は、何人いますか。皆さんは文書史料Dを最も信頼できるものとして選びますか。

(生徒G 01～名前は不明) 僕も文書史料Dです。

(マクゲトリック先生 93) よろしいです。最も信頼できるものとして、誰か、違うものを選んだ人はいますか。ニックはどれを選びましたか。

(ニック 04) 僕は文書史料Aです。なぜならば、ウィンストン・チャーチルはイギリスにいて、冷戦の当事者ではなく、外側から冷戦について客観的に見ていた人物だからです。

(マクゲトリック先生 94) なるほど。皆さんの中で自分の意見が授業の前後（最初と2回目の仮説）で変わったひとはいませんか。最初の仮説では、冷戦の開始はある一国に責任があるということから始めました。2つの文書史料（文書史料C・D）を読んだ後に、その考え方が変わりましたか。変わった人は手をあげてください。

*** クラスの半数の生徒が挙手する***

[58分経過／終了]

(マクゲトリック先生 95) よろしいです。了解しました。

私は皆さんに次の課題を渡しします。それでは退出してよいです。月曜日が本日の課題の締め切りです。もし質問があるならば、私に電子メールを送るか、放課後に来てください。

*** 授業の終了***

授業で配布した史資料

文書史料A 「鉄のカーテン演説」(改変)

しかしながら、ヨーロッパの現況についての確かな事実を皆さんにお伝えすることは私の義務です。バルト海ステッティンからアドリア海のトリエステまでヨーロッパ大陸を横切る鉄のカーテンが降されました。

このカーテンの裏側には、中欧・東欧の古くからの国々の首都があります。ワルシャワ、ベルリン、プラハ、ウィーン、ブタペスト、ベオグラード、ブカレスト、ソフィア、これらの有名な全ての都市とその周辺の住民は、ソヴィエト圏内にあり、何らかの形で、ソヴィエトの影響下にあるばかりか、ますます強化されつつあるモスクワからの厳しい統制を受けています。ロシアの国境から遠く離れた、そして世界中の無数の国々において、共産党の第5列部隊が創設され、完全な統合と共産党の中央から受け取った命令への絶対的服従のもとで活動しています。ソヴィエト・ロシア(ソ連)が戦争を欲しているとは思いません。彼らの求めているのは戦争の報酬であり、彼らの権力と主義のかぎりなき拡張であります。

しかしながら、私たちは、残されている時間のうちに、今日ここで考えなければならないことは、戦争の恒久的な防止であり、すべての国にできるだけ早く自由と民主主義を確立することにあります。

出典：チャーチルの「鉄のカーテン演説」の抜粋、1946年3月、ミシシッピ州フルトン

文書史料B：トルーマンドクトリン(改変)

米国は、ギリシア政府から財政的経済的援助を求める切迫した要請を受け取りました。・・・ギリシアは食糧、衣服、燃料、種子の購入を再開可能にするための財政的経済的援助を切に必要としています。

ギリシアの国家としての存立そのものが、今日、政府の正当性を拒む共産主義者によって指導された、数千人の武装したテロリストの活動によって脅かされています。・・・ギリシアは自立自尊の民主主義国になるためには、援助を得なければなりません。米国がこの援助をなさなければなりません。・・・(米国以外の)いかなる国もギリシアの民主的政府のために必要な援助を与えることを率先してできる国はありません。米国の外交政策の主要目的の一つは、私たち及び他の諸国民が専政に脅かされることなく生活を営むことができる状態の創造にあります。

ギリシア国民の生存と統合(integrity)がより広い地域に計り知れない重要性を及ぼしていることを理解するためには、地図を一瞥するだけでも十分でしょう。もしギリシアが武装した少数派の支配下に落ちるならば、その隣国トルコに対する影響は直接的かつ深刻でしょう。混乱と無秩序が中東全域広がることになるでしょう。・・・もし私たちがこの運命的な時期にギリシアとトルコに援助することを失敗するならば、その影響は西洋に対しても東洋に対しても大いに及ぶことになるでしょう。世界の自由な人々は、彼らの自由を保持するために私たちの助けを待っています。もし私たちがリーダーシップを発揮することに躊躇うならば、私たちは世界平和を危険に晒すことになるでしょう。そして、私たちはこの国民の幸福を必ずや危険にさらすことになるでしょう。事態の急速な進展によって大きな責任が私たちに課せられることになりました。

出典：1947年3月12日に議会で行なわれた「トルーマンドクトリン演説」の抜粋

文書史料C：ニコライ・ノヴィコフ駐米ソ連大使の電報（改変）

米国独占資本の帝国主義的傾向を反映する米国の外交政策は、戦後期における世界支配のための努力によって特徴づけられます。このことはトルーマン大統領と米国支配者層の代表者によって出された多くの意見の真に意味することです。すなわち、米国が世界を指導する権利を持っているということです。米国外交のすべての力、すなわち、陸軍力、空軍力、海軍力、産業力及び科学力がこの対外政策の遂行のために協力を求められています。この目的のために、勢力拡大を目指した広範囲の計画が展開されております。そして、この計画は外交と米国の国境を越えて遠方に広がる海軍基地・空軍基地体制の確立を通して実行されています。また、軍備競争を通して、そして新型兵器の恒常的な創造を通して、実行されています。

第二次世界大戦の間に・・・ [米国の指導者たちは、] もし米国が戦争への直接参加を避けることができなかつたならば、そのときには終結間際になってから参戦することを目論んでいました。そして、その時は、自国の利益を完全に保証することができ、容易に戦争の結果に影響を与えることができました。

この点に関して、以下のことが考えられました。すなわち、米国の主要な競争相手国が押しつぶされるか、あるいは戦争で大いに弱体化されるであろうかということです。そして、米国が、この事情によって、戦後世界の基本的な問題を解決するための最も強力な要因の役割を果たすことになるだろうということです。

出典：ニコライ・ノヴィコフ駐米ソ連大使によるソ連指導部への電報、1946年9月

文書史料D：ヘンリー・A. ウォーレス商務長官のトルーマン大統領への手紙（改変）

第二次世界大戦の終結以来、私は国際情勢の動向について益々心配になって来ました。米国の行動が他の諸国に対してどのように現われていますか。私は以下のような行動のことを言っています。すなわち、原爆のビキニ環礁での実験と原爆の継続的な生産、米国の兵器でラテンアメリカを武装化する計画、そして、空軍基地を地球の半分以上の地域に獲得し、そこから地球の残り半分以上を爆撃できるようにするための努力のことです。私は、これらの行動が世界の残り半分の地域には、あたかも米国だけが会議のテーブルで平和へのリップサービスを払っているかのように見られていると感じないわけにはいきません。

これらの事実、ある程度は（1）私たちが避けられないものとして見なした戦争に勝利するための準備をさせるか、それとも（2）私たちが他の人々を脅迫するために圧倒的な [最大量の] 強制力をつくりあげようとするかのどちらかを明らかにしています。

民主主義が概して一度も存在したことがなかった東ヨーロッパに民主主義を確立させることに私たちが関心をもつことは、ソ連の人たちには、非友好的な隣人による包囲を再び作り上げるための試みのように思われます。そして、そのことは [彼らを] 滅ぼすためのさらにもう一つの努力の跳躍板として役立つことかもしれません。

出典：ヘンリー・A. ウォーレス商務長官・前副大統領のトルーマン大統領への手紙。1946年7月23日。

資料1 誘導的問い①(ガイディングクエスチョン)のハンドアウト

○チャーチル「鉄のカーテン」演説

1. Sourcing (史料の根拠・出典を明らかにする) チャーチルとはどんな人か。なぜ、米国の人々はソ連について彼の言ったこと信じたのか。
2. Close reading (史料を精読する) チャーチルは、ソ連が何を要求していたと主張しているか。

○トルーマンドクトリン

1. Close reading (史料を精読する) トルーマンは、なぜ1947年にアメリカの援助を必要としたギリシアを信じたのですか。
2. Context (史料の文脈を明らかにする) 「もし私たちがこの運命的な時期にギリシアとトルコを援助することに失敗するならば、その影響は西洋にも東洋にもまことに大きなものになるでしょう」と、トルーマンが主張するとき、彼は何を意図していたのですか。
3. Close reading (史料を精読する) トルーマンは米国の政策を攻撃的なものとして示したのか、それとも防衛的なものとして示したのか。

資料2 誘導的問い②(ガイディングクエスチョン)のハンドアウト

○ニコライ・ノビコフ駐米ソ連大使の電報

1. Sourcing (史料の根拠・出典を明らかにする) ノビコフとはどんな人か。いつ、かれはこの電報を書いたのですか。
2. Close reading (史料を精読する) ノビコフは米国についてどの用に記述しましたか。かれは自分の書いたことを補強するためにどんな証拠を用いましたか。
3. Context (史料の文脈を明らかにする) ノビコフは米国が第二次大戦中はどんなことを計画していたと主張していますか。

○ヘンリー・A. ウォーレス米商務長官のトルーマン大統領への手紙

1. Sourcing (史料の根拠・出典を明らかにする) ヘンリー・ウォーレスどんな人でしたか。かれはこの手紙をいつ書きましたか。
2. Close reading (史料を精読する) ウォーレスの主要な議論は何でしたか。
4. Corroboration (史料を裏付ける) 米国の対外政策に対するトルーマンやノビコフの記述と比較して、ウォーレスのそれはどのように書かれていますか。

出典：Stanford History Education Group, *Curriculum : United States History Lessons*.より 翻訳 (<https://sheg.stanford.edu/user>, 2015年8月14日確認)。